

活動報告④

「気づきの事例検討会推進部会」より

令和7年度 気づきの事例検討会



令和7年12月19日

総合在宅支援センターかんのにて

「気づきの事例検討会」を開催しました。スーパーバイザーに稲松真人氏を迎え、8名で家族関係や引きこもり等の問題を抱える事例を検討しました。終始、穏やかな雰囲気の中で有意義な学習機会となりました。

令和8年2月13日

播磨町中央公民館 研修室にて

「公開気づきの事例検討会」を開催しました。今回は従来と趣向を変えて、グループワークを中心に参加者が細かな質問を考えながら事例を深める研修でした。本研修は年間を通じて3回開催し、すべての回に稲松真人氏が関わりました。スーパーバイザーが関与した研修会は貴重で、回を重ねても新たな学びと気づきが得られる有意義な機会になっています。



災害時における連携協力に関する 協定締結式



(左：長谷川副支部長 中央：花田支部長 右：岡田加古川市長)

活動報告⑤

令和7年11月19日に加古川市役所にて「災害時における連携協力に関する協定」が締結されました。今後とも「いざという時に助け合えるネットワーク」づくりを会員の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

兵庫県介護支援専門員協会 加古川支部 事務局

TEL 079-492-7601 FAX 079-492-7605 jjim@care-mhs.net

新規会員
募集中!!

【編集後記】

今号は、数多くの研修報告および紹介を中心に編集いたしました。この広報誌が、会員の皆様との架け橋になれば幸いです 広報委員会



兵庫県介護支援専門員協会 加古川支部

加古川支部便り

令和8年2月発行 vol.7

支部長からのあいさつ

皆様、日頃は当支部活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

これまで加古川市との連携強化について継続的な協力関係の構築について、目に見える形で残すことができたなら、と皆様にお話をしていたのですが、先日やっと加古川市と災害時における連携協力に関する協定を結ぶことができました。これも皆様のご協力の賜と感謝いたします。今後とも支部活動へご理解をご協力のほど、よろしくお願い致します。



兵庫県介護支援専門員協会 加古川支部長 花田原樹(介護相談室あえる)

支部長日誌

支部長日誌ということですが、休日や早く帰宅できるときなどは料理をすることが楽しみになっています。

子供が3人いまして、だんだんと食べる量が増えていくことがとてもほほえましく、喜んでいます。

さて、挨拶でも記載しましたが、加古川市と協定を締結いたしました。

(当日の写真は裏面) 災害時だけでなく、日頃からの連携強化を図っていきたいと考えています。また、その協定をより意義あるものとするため、会員数の増加が求められています。なにとぞ皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願い致します。この協定が意義あるものと認められれば、稲美町、播磨町にもお声かけできればと考えています。

皆様と一緒に、入って良かったと思えるような会にしていけることができれば幸いです。今後ともよろしくお願い致します。

活動報告①

「薬剤師会・歯科医師会連携委員会」より

「食べる力を支える栄養支援 ～オーラルフレイルと低栄養を防ぐ～」

令和7年10月25日

ウェルネージホールにて



多職種の皆様全体で約80名参加され、講師の先生よりご自身の食支援の事例を基に、口腔ケアの仕組みや実践方法など盛りだくさんの内容でした。講義を通じて、食べることの重要性を再認識させられました。



チェックポイントおすそわけ

NST専門療法士の谷本様、歯科衛生士の泉本様にご登壇され、歯科衛生士、リハビリ職、看護師、ケアマネジャーなど複数の多職種があつまり、貴重な講義の中で、食支援などについて学びました。第2部では、展示・実践ブースにて各団体からの展示品等をみながら、多職種での交流を深める場となりました。

活動報告②

「薬剤師会・歯科医師会連携委員会」より

第1回 多職種連携研修会

令和7年11月20日

ウェルネージホールにて



多職種連携で考えるポリファーマシーをテーマに多職種の皆様全体で約80名参加され、医師である講師の先生の貴重なご講演やその後多職種で同テーブルとなり、各々の支援を通じての課題を話し合う等普段ではできない良い雰囲気での勉強会、交流会の場となりました。



チェックポイントおすそわけ

大西メディカル在宅診療部 大西潤医師にご登壇され、6種類以上の服用で薬物有事事象のリスクが高くなることや75歳以上で4人に1人が7剤以上服用している現状について、薬の処方にあたり、医師であっても患者の方を全人的に把握することの重要性などの貴重なお話が盛りだくさんあり、その後のグループワークも積極的に多職種での交流がなされていました。

活動報告③

「支部研修開催担当者」より

「兵庫県介護支援専門員協会加古川支部研修」

令和8年1月23日

加古川市総合福祉会館にて

2市2町地域ケア協議会と共催し「障がい福祉から介護保険へ」をテーマに約90名が学びを深めました。加古川市介護保険課と障がい支援課による概要説明のあと、ケアマネジャーと相談支援専門員からの事例発表、その後のグループワークではそれぞれの視点から積極的な意見が出てい

研修では、障がい福祉サービスから介護保険制度へ移行する際の制度概要や両制度の相違点、実務上の留意事項について理解を深めるとともに、利用者が切れ目のない支援を受けられるよう、関係機関同士が連携することの重要性を共有しました。



チェックポイントおすそわけ

- 障がいのある人が65歳になって介護サービスへ移行する際は、事前にしっかりと支援者同士で連携してスムーズに移行できるよう働きかけることが大切です。
- 障がい者支援と介護保険の支援者が互いに制度を理解したうえで、ご利用者へ十分な説明と同意を得ることが重要です。

【まとめ】ケアマネジャーと相談支援専門員が共に参加し、それぞれの立場から意見交換を行うことで、制度の域を超えた支援の在り方や、円滑な制度移行に向けた具体的な課題について考える有意義な機会となりました。今後も利用者一人ひとりの暮らしを支えるため、関係機関が顔の見える関係を大切にしながら、より良い支援につなげていきたいと考えています。

